

まちのわだい

MY TOWN NEWS

122 しろさとネットワーク等連絡協議会設立記念イベントを開催

コミュニティセンター城里において、しろさとネットワーク等連絡協議会設立記念イベント「ホルルの休日」が開催されました。

県警音楽隊のコンサートをはじめ、町内の保育園に通っている園児の発表会、町内の特産品を使った料理の販売など盛りだくさんの内容で、多くの方にご来場いただきました。

また、皆さんが大事にしているぬいぐるみをお預かりし、お泊り会を開催しました。ぬいぐるみが心配になった方もいましたが、写真でお泊り会の様子を知り、喜んでいました。



129 ふれあいの里で茨城シクロクロス大会が開催

ふれあいの里において、茨城シクロクロス大会第3戦が開催されました。大会当日は約300人の選手が、自然の起伏や傾斜、95段の階段など多くの障害があるコースを駆け抜けました。

出展ブースでは、古内茶やおしろこなどの無料配布や町の特産品を使ったお食事の販売を行い、選手の方々に応援しました。

城里町での次回開催は、3月12日(日)にふれあいの里にて予定されています。



125 ボランティアの方々と一緒に不法投棄廃棄物の撤去事業を実施

町内の環境保全と不法投棄撲滅を図るため、町民ボランティアのほか、多数の協力者と一緒に不法投棄廃棄物の撤去事業を実施しました。



1月21日(土) 那珂西地内
参加者：(一社)茨城県産業廃棄物協会、茨城県、城里町

118 統計功労者総務大臣表彰

平成28年度茨城県統計功労者表彰式が茨城県庁で行われ、長年にわたり各種統計調査の発展に尽力された木村一夫さん(那珂西)が総務大臣表彰を受賞されました。



総務大臣表彰 木村一夫さん

113 高大官連携プロジェクト成果発表会を実施

昨年4月に始動した県立桜ノ牧高等学校常北校・常磐大学・城里町の三者による高大官連携プロジェクト「めざせスターダム! ~Make up 城里~」の成果発表会を実施しました。

発表会では、各グループによる町内資源を活用した企画案を発表しました。藤井川ダムを擬人化したキャラクターを活用する「ダ娘総合開発事業」や「ダムカレー開発事業」、「開発公社周辺の提灯によるライトアップ事業」など、ユニークな企画が立案されました。

今後は、各企画案を改良し、クラウドファンディングによる資金獲得を図ります。

詳細は町ホームページに掲載予定ですので、ご覧のうえプロジェクトにご協力ください。



2月5日(日) 増井地内
参加者：のぞみの会、増井1区・2区の皆さま、城里町

2 10 町男女共同参画プラン策定委員会から答申を受領

城里町男女共同参画プラン策定委員会の答申がまとまり、小林祥宏会長から上遠野町長へ「城里町男女共同参画基本計画(第三次)」に関する答申書が手渡されました。

策定委員会では『男女共同参画に関する町民意識調査結果(▶10・11頁参照)』を基に、町の現状や課題について慎重な審議がなされました。

策定された基本計画は、3月下旬に町ホームページで公開する予定です。



2 16 常北幼稚園が防災教室を実施

常北幼稚園で、園児と保護者を対象とした防災教室と引き渡し訓練が行われました。

防災教室では、女性消防団員による寸劇で地震発生時の正しい対応を学び、身の守り方を「ダンゴムシ体操」で身につけました。

引き渡し訓練では、災害発生時に園児を安全に帰宅させるための手順を確認しました。



2 15 ななかいの里生産研究部会が知事を表敬訪問

昨年12月に開催された「第18回米・食味分析鑑定コンクール・国際大会」の国際総合部門にて特別優秀賞を受賞した盛田守さん(徳蔵)が、ななかいの里生産研究部会の会員や関係者とともに県庁を訪れ、橋本昌知事に受賞を報告しました。

ななかいの里生産研究部会(古滝初男部会長、会員20人)は、安心・安全なお米の生産を目的に設立され、減農薬で質を追求した特別栽培米を生産しています。

盛田さんは、「徹底した品質管理をし、安心・安全でおいしいお米作りに励みたい」と話されていました。

2 4 NHK「民謡をたずねて」公開収録

コミュニティセンター城里において、NHKラジオ番組「民謡をたずねて」の公開収録を行いました。

当日は町内外から約500人が来場し、日本を代表する民謡歌手・奏者によって披露された心温まる民謡の数々に耳を傾けました。

収録された番組は、ラジオ第1・NHK-FMで3回にわたり全国放送されます。茨城の民謡が多数紹介されますので、ぜひお聞きください。

○放送日時：4月8日(土)、15日(土)、22日(土)
いずれも午後0時30分～0時55分

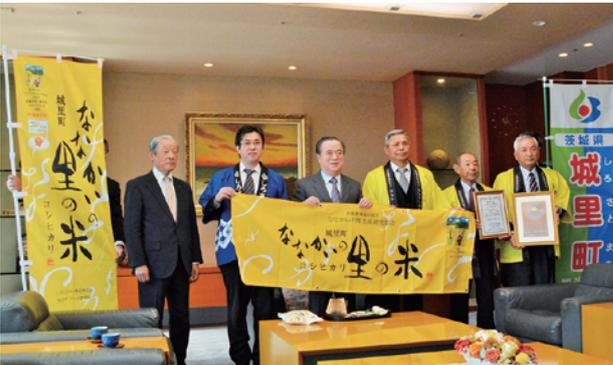


2 8 家族経営協定調印式

家族経営協定とは、経営方針や役割分担、働きやすい環境整備などについて家族間での話し合いに基づき取り決めるものです。

本町では今年度新たに2世帯が協定を結び、合計で38世帯が締結しています。

協定の締結をきっかけに、家族全員が農業経営に参画でき、意欲と能力を発揮できる環境を整備することが重要です。



▲特別優秀賞を受賞した盛田守さん(写真右)